

次期「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」

第2回 策定委員会

令和6年5月15日（水）

午後6時30分～8時15分

区社協3階 第1・2会議室

別紙1：レジュメ

別紙2：前回会議議事要旨

別紙3：成果目標／区民アンケート調査

別紙4：第2期 策定スケジュール（案）

1 あいさつ

A委員長

2 現計画の評価について

【見守りネット倶楽部の認知度33.6%を受けて】

- ・上記数字の高低を評価するために、他事業に認知度と比較をし、認知度向上のための指針とする

【評価等について】

- ・成果目標／区民アンケート調査の評価方法を、委員及び事務局で協議していく
- ・目標設定についても協議を行う

3 次期計画策定について

【策定スケジュール】

令和6年	3月	5日	策定委員会 発足
	4月	9日	第1回 策定委員会
	5月	14日	第2回 策定委員会
	6月	18日	第3回 策定委員会
	7月		新委員公募（きらりにしよど）
			第1回 推進会議
	8月		第4回 策定委員会
			第1期委員の任期終了

	9月	第2回	推進会議
	10月	第5回	策定委員会
	11月	第6回	策定委員会
	12月	第3回	推進会議
令和7年	1月		
	2月	第7回	策定委員会
		第5回	推進会議

【基本的な策定方針】

(1) 地域の現状について

- ・とある地域で「こども食堂は必要ない。必要とするこどもは地域にいない」といった声があり、活動者と地域で意見の食い違いがあった。
- ・障がい者がボッチャの講師になることで、「支えられる側」から「支える側」になるということがあった。

(2) 社会の問題・課題等について

- ・LGBTQ+、ダイバーシティ
 - ・重層的支援体制整備事業等
- 社会問題に関する文言にも触れる

(3) 多様な層へのアピールについて

- ・小学校低学年でもわかる（やさしい日本語）資料を作成する
 - ↳福祉教育で活用
 - ・家族で考えるきっかけにも
 - ・外国語バージョンを作成する
 - ・10～20代などの若年層が活動へ参加するきっかけを考える
 - ↳小学生ができること、中学生・高校生ができること等を記載し、写真やイラスト、QRコード等を使い、地域福祉活動のイメージを可視化する
- 地域福祉活動参加の入口のハードルを下げる

【まとめ】

- ・西淀川区の地域特性・現状を取りまとめ、現在の社会問題・課題を整理し、新たな担い手確保も視野に入れた多様な層へのアピール方法を検討していく。
- ・地域での共生には、お互いに「認め合う」ということも必要。
プロセスとしては「知り合う」→「話し合う（対話）」→「認め合う」→「助け合う」

4 その他

【西淀川区の歌（仮）について】

- ・区民まつり等で”詞”を構成する文言を募集する
- ・完成は来年度中を予定
→次期計画では今期計画の概要版表紙記載の「西淀川区はこんな”まち”です。
知っていました？」のスペースに入れ込むのも面白い

5 あいさつ

鈴木准教授

- ・時代の変化や表現手法を考えていくことができた。

今後の予定

【策定委員会】

日時：令和6年6月18日（水）午後6時30分～

場所：区社協3階 第1・2会議室